

みずほCustomer Desk Report 2017/07/10号(As of 2017/07/07)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	113.15	1.1421	129.24	0.9606	1.2966	0.7580
SYD-NY High	114.18	1.1440	130.12	0.9654	1.2975	0.7624
SYD-NY Low	113.11	1.1380	129.18	0.9601	1.2867	0.7573
NY 5:00 PM	113.90	1.1408	129.85	0.9641	1.2889	0.7608
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	8.055/8.48		△25RR	0.823		Yen Call Over

NY DOW	21,414.34	94.30	債券市場	日本2年債	-0.1030	▲0.8bp
NASDAQ	6,153.08	63.61		日本10年債	0.0870	▲1.7bp
S&P	2,425.18	15.43		米国2年債	1.3990	0.5bp
日経平均	19,929.09	▲64.97		米国5年債	1.9470	1.2bp
TOPIX	1,607.06	▲8.47		米国10年債	2.3856	2.0bp
シカゴ日経先物	20,060.00	130.00		独10年債	0.5730	1.1bp
ロンドンFT	7,350.92	13.64		英10年債	1.3050	▲1.1bp
DAX	12,388.68	7.43		豪10年債	2.7300	9.0bp
ハンセン指数	25,340.85	▲124.37		為替市況	USD/CNH	6.8039
上海総合	3,217.96	5.51		ドルインデックス	96.01	0.21

USDJPY 3M Vol	8.63	▲0.08%	商品市況	CRB指数	172.560	▲1.87
USDJPY 6M Vol	8.94	0.01%		NY金	1,209.70	▲13.60
EURJPY 3M Vol	9.25	0.07%		WTI	44.23	▲1.29
EURJPY 6M Vol	9.65	0.13%		Dubai Spot	45.70	▲1.34

東京 東京時間のドル円は113.15レベルでオープン。日経平均株価が前日比100円超マイナスで寄り付き軟調推移となるもドル円は113円台前半での底堅い推移となった。その後、日銀が残存5年超10年以下の国債買入れ額の5,000億円への増額と指値オペを通告すると円売りが強まる展開となり、ドル円は一時113.83まで上昇。買い一巡後は海外時間に控える米6月雇用統計の発表を前に様子見ムードとなり113円台後半での方向感に欠ける推移が続いた。結局、113.71レベルで海外へ渡った。(東京15:30)

ロンドン ロンドン市場のドル円は113.71レベルでオープン。前半は海外時間の流れを引き継ぎ、日銀の指値オペ実施を受けてドル買い円売りの流れが強まるなど、113.84まで上昇。後半は米6月雇用統計の発表を控え様子見ムードに小幅推移となり、113.77レベルでNYへ渡った。ポンド円は1.2960レベルでオープン後、下落する展開。特に注目される材料が無い中、発表された英5月鉱工業生産が前月比0.1%減(予想0.4%増)、前年比0.2%減(予想0.2%増)と市場予想を大きく下回ったことを受け、英経済が勢いを失っているとの見方にポンドは下落し、1.2900レベルでNYへ渡った。(ロンドンホールド 00531 444 179 丸野)

ニューヨーク NY時間のドル円は113.77レベルでオープン。朝方発表された米6月雇用統計は非農業部門雇用者数変化が予想を大きく上回り、過去2ヶ月分も上方修正されたことからドル買いが強まりドル円は一時113.87まで上昇。しかし、注目されていた平均時給が予想を下回ったことから、米金利低下と共に113.50まで反落。その後、クロ円が底堅く推移する中で113円台半ばでは下げ渋り、113円台後半まで回復。さらに堅調な米株を背景にドル円は約2ヶ月ぶりに114円台乗せを示現し、高値114.18を付けた。しかし、114円台ではドル売り意欲も強く、113.87まで反落し、113.90レベルでクローズした。一方、ユーロドルは1.1409レベルでNYオープン。朝方は弱い米6月平均時給を受けてドル売りが強まるヒューロドルは高値1.1440まで急伸。しかし、同レベルでは売り意欲も強く、1.1380まで反落。その後は1.1400付近での狭いレンジ内の推移が続き、1.1408レベルでクローズした。

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
7月7日	8:30	米 フィッシャーFRB副議長 講演	-	-
	15:00	鉱工業生産(前月比/前年比)	5月 1.2%/5.0%	0.2%/4.0%
	17:00	外貨準備高	6月 \$3,056.8B	\$3,061.0B
	17:30	鉱工業生産(前月比/前年比)	5月 -0.1%/-0.2%	0.4%/0.2%
	21:30	非農業部門雇用者数変化/失業率	6月 222K/4.4%	178K/4.3%
	21:30	平均時給(前月比/前年比)	6月 0.2%/2.5%	0.3%/2.6%
		G20首脳会談(~7/8)	-	-

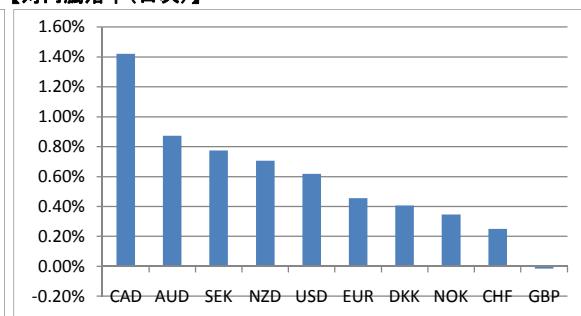
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
7月10日	8:50	日 機械受注(前月比/前年比)	5月 1.7%/7.6%	-3.1%/2.7%
	8:50	日 経常収支/貿易収支	5月 ¥1792.8B/-¥45.0B	¥1951.9B/¥553.6B
	9:30	日 黒田日銀総裁 講演	-	-
	10:30	中 CPI/PPI(前年比)	6月 1.6%/5.5%	1.5%/5.5%
	15:00	独 貿易収支/経常収支	5月 €184B/€17.0B	€18.1B/€15.1B
	23:00	米 労働市場情勢指数	6月 2.5	2.3

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	113.50-114.20	1.1380-1.1450	129.50-130.50

【マーケット・インプレッション】

先週金曜日海外時間のドル円相場は、ドル買い優勢の展開となった。発表された米6月雇用統計は雇用者数こそ予想を上回るもの、失業率、平均自給は予想を下回る強弱混在の結果。但し、米株や米金利が上昇する中でドル円は約2ヶ月ぶりに114円台まで上昇した。本日はやや軟調な展開を予想。先週末発表された米6月雇用統計で、労働市場は引き続き良好である一方で、賃金は期待されるほど伸びていないと解釈できる。今後の米金融政策動向において、賃金の上昇がもたらす物価上昇は重要なファクターであり、この伸びが確認されなかつ以上、更なるドル円上昇の力強さは欠くと考える。本日は先週末の上昇分を一旦戻すような相場の下押しに警戒したい。